

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズハウスきずな2nd			
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 1日	～	令和 8年 2月 28日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41人	(回答者数)	29人
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 1日	～	令和 8年 3月 13日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピストやアドバイザーから専門的なアドバイスや提案を受けられる	助言やアドバイスを職員間で共有し、こどもの状態や特性に応じた支援を提供している	セラピストからの助言や研修機会を増やし、職員全体の療育スキルをアップさせる
2	保護者との情報共有や相談への対応力が高い	セラピストやアドバイザー、事業所をまたいだ職員からも意見や助言をもらうことができ、保護者からの相談に適切で密な対応を行うことができる	保護者からの相談だけでなく、事業所内でのこどもの様子をよく観察し、変化を見逃さず、保護者への共有を深めて信頼関係を強める
3	事業所内で活動部屋や勉強部屋を分けてスペース確保し、地域のこどもと、支援学校のこどもが混じりながら過ごしている	こどもたちが自主的に遊び、自分の思いを伝えられるよう活動やプログラムを組み、どのこどもも自己選択する力をつけられるような声かけや見守りを行っている	集団活動や集団遊びと、個別の取り組みや状態に合わせて活動スペースをそれぞれ確保したり、環境調整を行う

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域のこどもたちとの交流機会が少ない	事業所内の活動のみに注力し、外部との交流を企画できていない	どのような交流機会を持つか職員間で話し合いを持ち、地域交流の機会を増やす
2	保護者やきょうだい同士の交流機会が少ない	年1～2回親会を行っているが、その内容やタイミングが保護者やきょうだいの希望に沿っているか掴めていない	保護者やこどもたちに向け、どのような内容で交流を行いたいかにリサーチした上で開催頻度や内容を決めていく
3	事業所の活動やプログラムを外部アピールしきれていない	各マニュアルは策定しているが、研修の実施や避難訓練の実施状況を外部や保護者に発信しきれていない	SNS発信頻度を増やす等、頻度や内容を工夫して閲覧数を増やし、外部アピールを図る